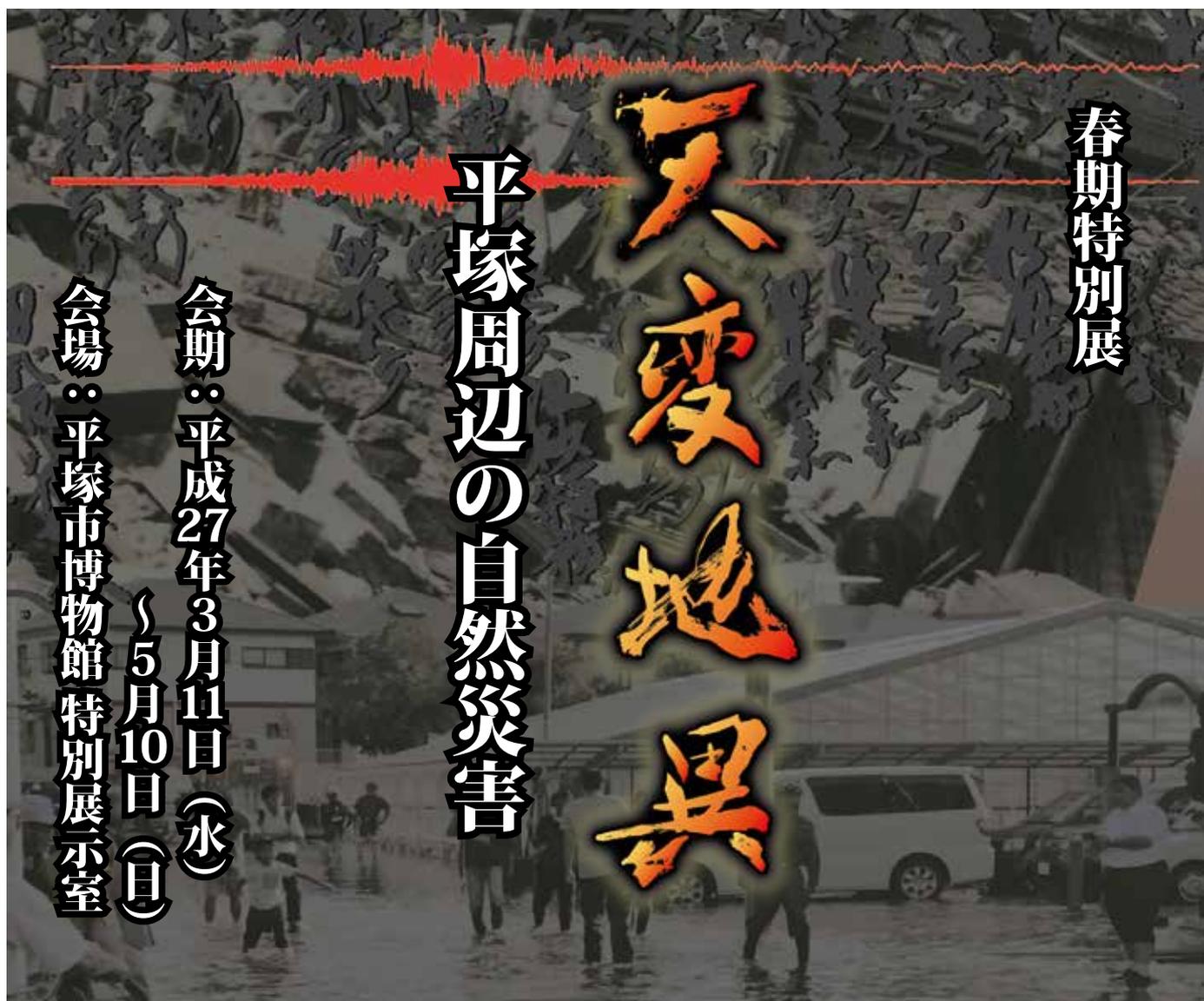




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2015.3月号



2011年の東日本大震災以来、自然災害への国民の関心が高まっている折り、昨年は自然災害の多い年でした。2月に20年ぶりの大雪、5月には伊豆大島近海地震がありました。8月の広島市での土石流、9月の御嶽山噴火では、それぞれ50名を超える犠牲者が出ました。10月には台風18号が平塚を直撃して冠水・浸水し、11月には長野県北部で震度6弱を記録しました。

吉村昭の小説には『闇を裂く道』、『関東大震災』、『三陸海岸大津波』など自然災害を対象とした作品があり、史実に基づいて記録を取ることの重要性とそれを広く世間に公表する姿勢が伺われます。それは博物館の精神にも通じるものです。

平塚市では、富士宝永噴火による火山災害、大正関東地震などによる地震災害、台風や豪雨による洪水といった気象災害など、何度となく災害を被ってきました。今回の特別展では、自然・人文両分野の学芸員が協働して平塚周辺の自然災害について、気象災害、火山災害、地震災害にわけてまとめました。過去の自然災害を振り返り、その教訓を防災・減災に生かしていただければ幸いです。

春期特別展「天変地異 平塚周辺の自然災害」関連行事

展示期間中、下記の関連行事を行います。ふるってご参加下さい。

◇記念講演会

- ・「元禄地震と平塚」講師：下重 清氏（東海大学） 3月22日（日）
 - ・「歴史に学ぶ防災論：関東大震災は語る」講師：武村雅之氏（名古屋大学） 3月28日（土）
- ※各回とも会場は博物館講堂、時間は14時～15時30分、参加自由（先着80名）

◇特別展展示解説

3月21日（土）・4月4日（土）・11日（土）・25日（土）・5月9日（土） 各回13時～13時55分、参加自由

◇野外見学会

- ・「関東大震災の記念碑をたどる」日時：4月5日（日）13時～16時
 - ・「巡って学ぶ自然災害と微地形（平塚駅～撫子原～上平塚）」日時：4月11日（土）13時～16時
- ※各回とも定員30名。往復はがきで申込（3月20日（金）消印有効）。応募多数の場合は抽選。雨天時は博物館講堂で解説。

◇天変地異シンポジウム「平塚周辺の自然災害を考える」

講師：博物館学芸員 日時：4月19日（日）13時～16時 会場：博物館講堂 参加：自由（先着80名）

◇防災講演会「東日本大震災以降の平塚市の災害対策」

講師：災害対策課職員 日時：4月25日（土）14時30分～16時 会場：博物館講堂 参加：自由（先着80名）

◇2F情報コーナー「楽しく続けるわが街の防災展」（ひらつか防災まちづくりの会）

会期：4月1日（水）～5月10日（日）

◇プラネタリウム特別番組「星空とともに」・「3.11 東日本大震災の記録～岩手県南部沿岸地域の3年間」

日時：3月11日（水）14時～15時 15時30分～16時30分

3月14日（土）・3月15日（日）15時30分～16時30分

参加：自由（先着70名）

寄贈品コーナー「3.11 東日本大震災写真展」

会期：3月5日（木）～5月10日（日）

2011年3月11日に起きた東日本大震災は記憶に新しいことでしょう。三陸沖の深さ約24kmで発生したこの巨大地震は、地震そのものによる被害のほか、津波、火災、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染や大規模停電など、未曾有の大災害をもたらし、東日本太平洋沿岸のみならず、日本全国に大打撃を与えました。この震災による死者・行方不明者は18,000人以上、建築物の全・半壊は40万戸以上に達し、未だ23万人以上の方々が避難生活をおくり、復旧作業が長期化しています。

この地震は国内観測史上最大のマグニチュード9.0で、西北西～東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型の海溝型地震でした。東北日本の日本海溝沿いでは数十年～百数十年に一度程度、マグニチュード7～8.5程度のプレート境界地震が起きていましたが、今回の地震は、歴史上珍しい、1,000年に一度程度か、それ以上の間隔の低頻度大規模地震だったのです。

ここでは、東日本大震災の東北地方の被害の状況と、復興への取り組みについて写真で紹介합니다。平塚周辺でのこの地震による被害については、特別展「天変地異—平塚周辺の自然災害」の中で紹介します。



液状化によるマンホールの抜け上がり
(山形県蔵王町円田)



津波により建物2階に乗り上げたバス
(宮城県石巻市雄勝町)

「ギンガロメダ」

<公演概要>

- 日時：2015年3月27日(金)
① 14時30分～ ② 18時30分～
(開場は各30分前)
- 会場：博物館3階 プラネタリウム室
(全席自由席)
- 申込：3月13日(金) 午前10時より
電話にて申込(先着順)
- 料金：200円(18歳未満および65歳以上は無料)
- 定員：60人
※ シアトリカル・プラネタリウムは、演劇を中心とした作品です。
通常のプラネタリウム投影とは異なります。



<ものがたり>

いまから40億年以内に起きると言われる銀河の衝突。
融合した銀河系を誰が支配するのか、宇宙では人知れず過酷な戦いが続いていた。
因果律の計算から未来を知ったアンドロメダ系宇宙人たちは、手違いから、なにも知らない主人公のもとへ、宇宙の王座をめぐる戦いを挑んでくることに。
実際なにも知らない(というか銀河が合体する時には生きてもいない)地球人たちは、果たして銀河の王者となれるのか?
広大な銀河同士の融合。長い長い時間の果てにおきる現実。
なんでもない毎日を暮らしていた地球人たちは、その事実はどう向き合い、どんな結末を迎えるのか?

style-3!

プラネタリウム・コンサート

今年もプラネタリウム・コンサートに人気ポップインストユニット style-3! がやってきます!
今年2月にピアノの堀江沙知さんが style-3! を卒業、style-3! にとって変化の年となりました。
とはいえ、style-3! の音楽とパフォーマンスは変わりません!
美しい星空のもとで繰り広げられる style-3! のライブ・パフォーマンス…ご期待ください!



- 日時：4月3日(金) ① 14時～ ② 19時～(開場30分前)
- 会場：博物館3階 プラネタリウム室(全席自由席)
- 申込：往復はがきに応募する人全員の氏名(1枚のはがきで3名まで)、代表者の住所、電話番号、希望する回(どちらか1回のみ)を書いて3月20日(金)当日消印有効で申込。
- 料金：500円(18歳未満・65歳以上300円)
- 定員：60人(応募多数時抽選)

Calendar table for March, listing dates, events, and locations. Includes special exhibitions like '天変地異 平塚周辺の自然災害' and '3.11東日本大震災写真展'.

Calendar table for April, listing dates, events, and locations. Includes special exhibitions like '3.11東日本大震災写真展' and '春期特別展「天変地異」」.

【春期特別展】「天変地異 平塚周辺の自然災害」1～2ページを参照

【寄贈品コーナー】「3.11東日本大震災写真展」2ページを参照

【情報コーナー】ミニ文化祭「綿を知ろうー栽培から小物作りまでー」

【プラネタリウム】定員：70人

☆プラネタリウム一般向け番組「星空はタイムマシン」

☆プラネタリウム幼児向け投影「ちきゅうをさがせ」(未就学児向け)

☆館長の星空解説「いつもの星空・春」

☆特別投影「星空とともに」

備考:3月は、毎月第3日曜日に開催していた「星空と音楽のタベ」はお休みします。

☆:プラネタリウム投影日 ○:申込制行事 ◎:参加自由 無印:年間会員制

【申し込み制の行事】

- 野外見学会「関東大震災の記念碑をめぐる」2ページを参照
○野外見学会「歩いて学ぶ自然災害と地形」2ページを参照
☆雑貨団シアトリカル・プラネタリウム mission.31「ギンガロメダ」3ページを参照
☆style3!プラネタリウム・コンサート 3ページを参照

【自由参加の行事】

- ◎天文連続講座「暦を知る」第3回「西暦と旧暦」
◎天文連続講座「暦を知る」第4回「太陽、月、地球の運動」
◎ろばたばなし
◎ミニ文化祭関連行事「糸つむぎ体験」

あなたと博物館 42巻12号 通算459号 発行 平塚市博物館 2200
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/